



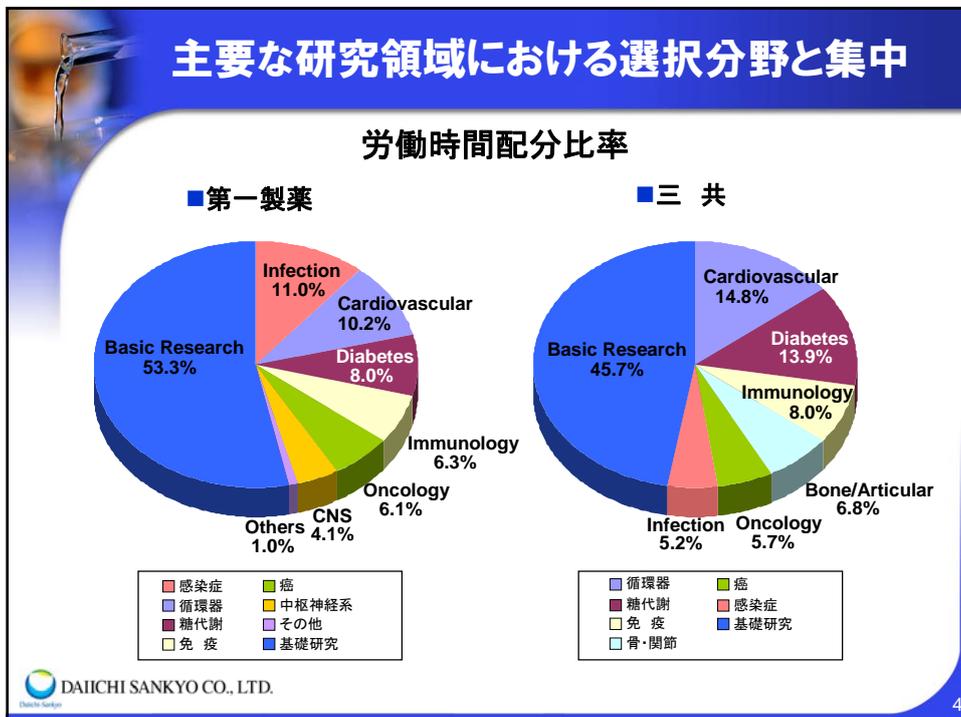
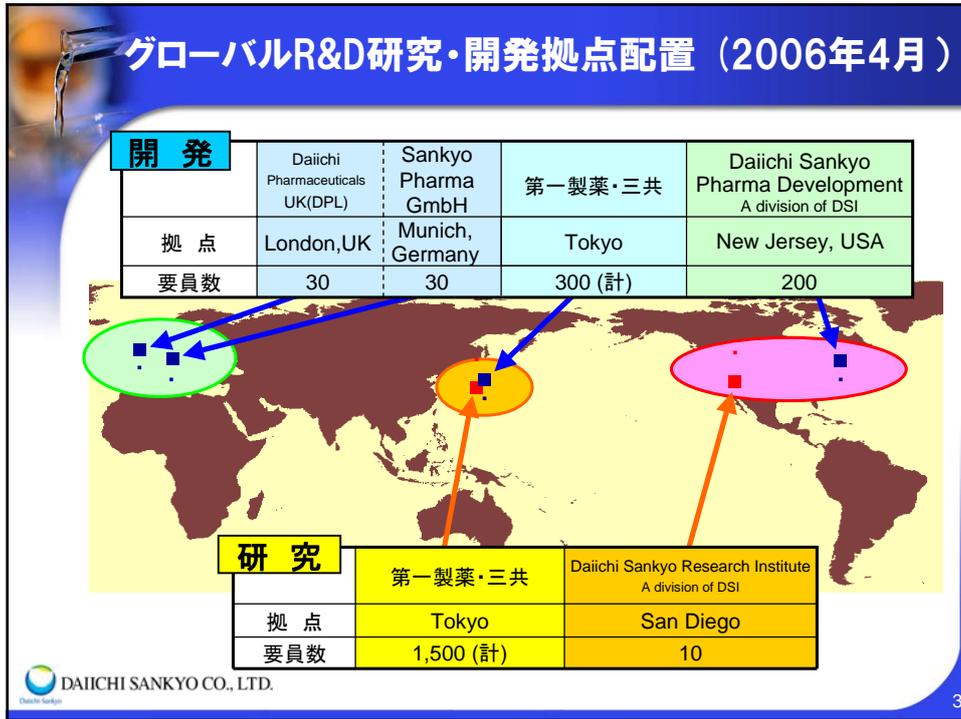
第一三共研究開発の統合における方針

- この統合は、お互いの歴史、伝統、および企業文化に対する相互尊重に基づき、対等な立場で実施するものである
- すべての実務プロセス、機能、および組織体制において、
 - 各社の強みを活用する
 - お互いが、偏見を持つことなく学び合い、客観的な視点に基づいて最高のもを厳選し、採用する
 - 統合会社の利益を最優先に考える
- 複数の疾患領域で日本最大の市場シェアを誇るプロダクトポートフォリオを用いることで、統合会社には研究開発における強力なシナジー効果を見込む
- 財務力の強化により、M&Aなど活動を通して外部資源を獲得する機会が増加することを見込む

第一三共における研究開発戦略

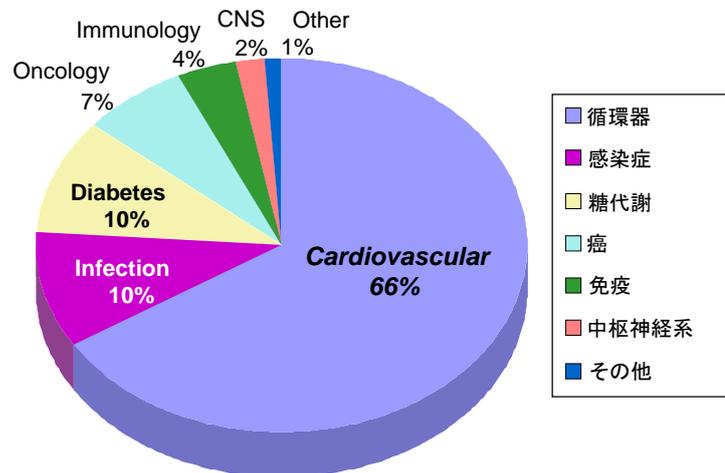
- 未充足の医学ニーズに対し、“best in class” かつ “first in class” の製品を開発
- 人的リソースと多様性のバランスを兼ね備えた、「適正なサイズ」のグローバル研究開発組織の実現
- 循環器、糖尿病、癌、感染症等の重点領域において、革新的研究を遂行するに足る規模の実現
- 提携の必要なしに、主要なパイプライン製品を開発できるだけの人的リソースの確保
- 効果的かつ効率的な開発パイプライン管理およびタイムリーな意思決定
- 権限委譲された開発チームによる卓越したグローバル開発機能の保有
- グローバルライセンス契約において、選ばれるパートナーとなること
- あらゆる業務における高品質への注力
- 日々、新薬を待ち望んでいる患者がいることを肝に銘じること

Global Pharma Innovator としての真の競争力獲得



疾患領域ごとの予算

■2006年度の疾患領域ごとのプロジェクト予算の比率



DAIICHI SANKYO CO., LTD.

5

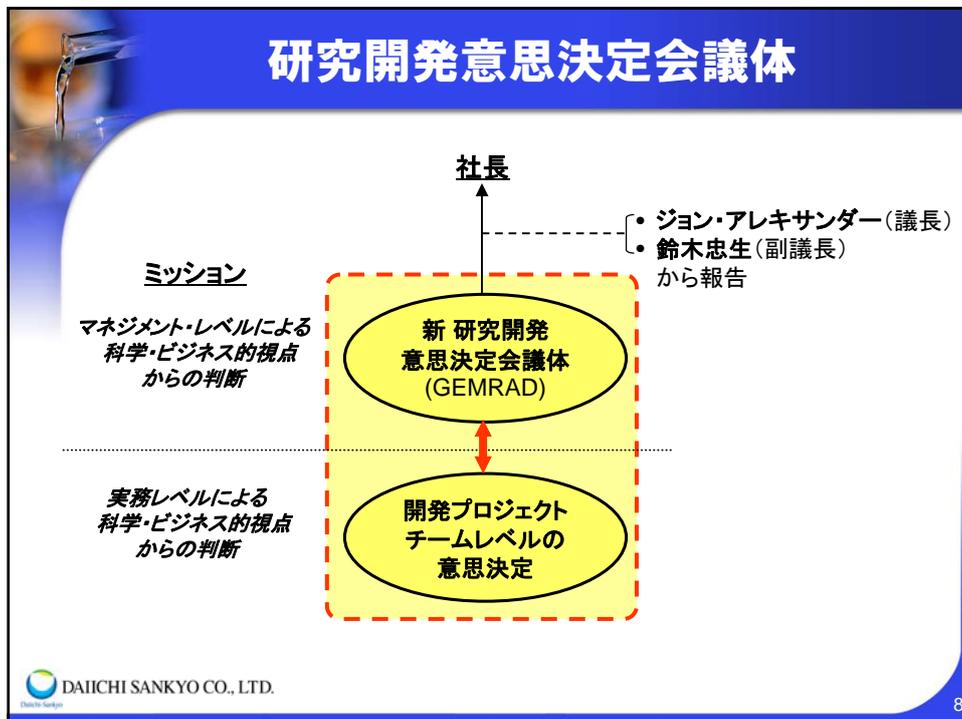
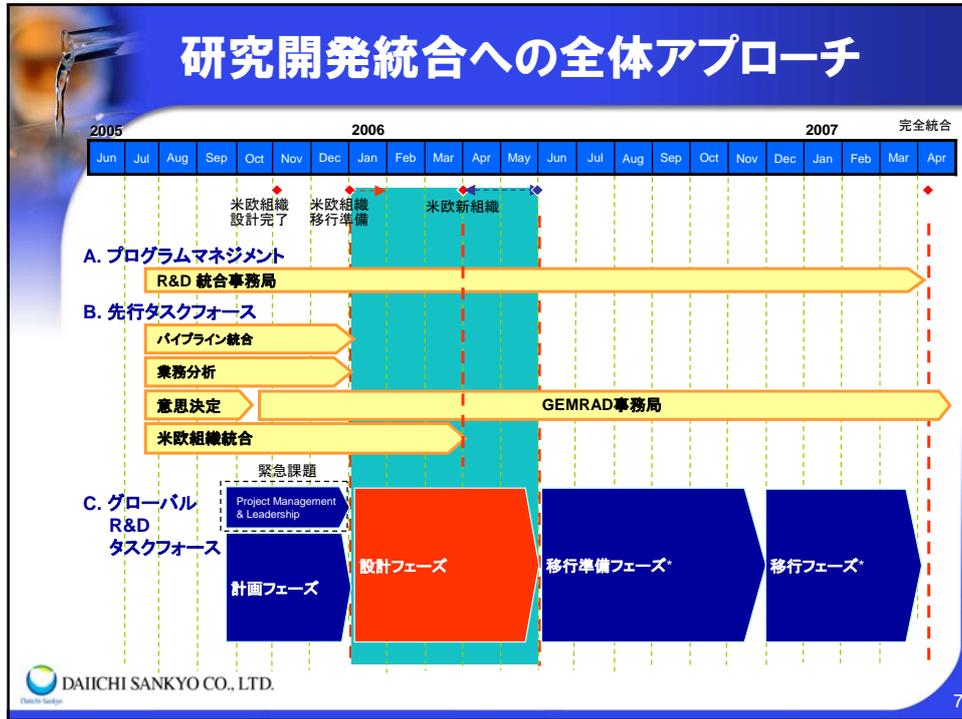
グローバル研究開発統合の進捗

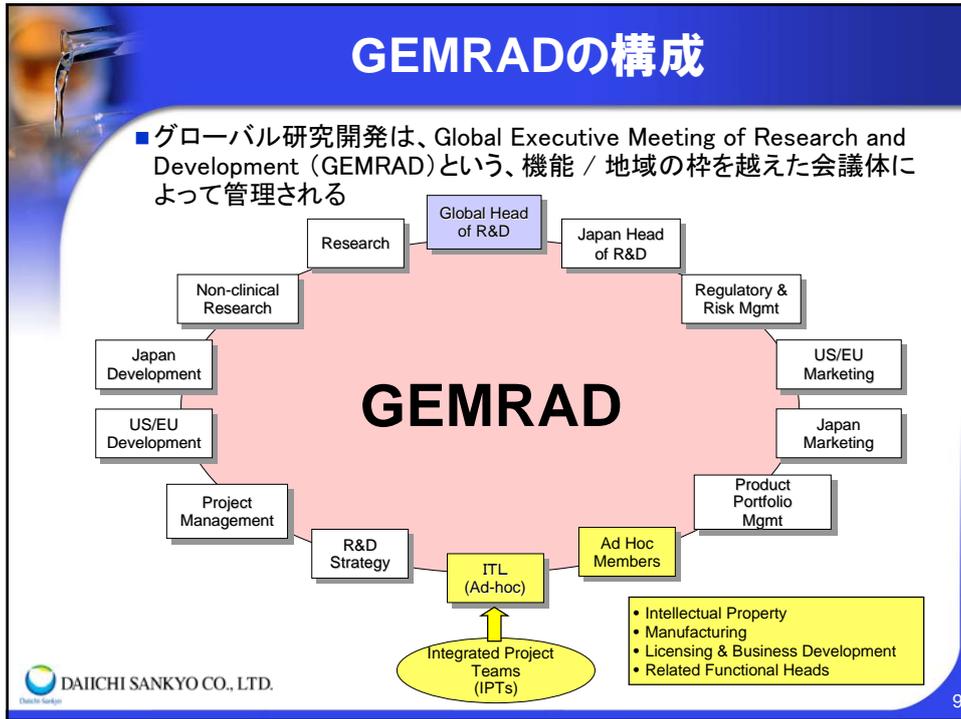
- 機能 / 地域の枠を越えた、研究開発の最高意思決定会議体として GEMRAD を設立
- GEMRAD は、パイプラインの優先度評価を実施
- 最優先開発プロジェクトに対する、開発プロジェクトチーム (Integrated Global and Regional Project Teams) の全面的な支援と適正な予算配分
- 欧米組織は4月3日に設立、日本の統合は予定通り
- 統合された研究開発予算を策定済
- 第一三共における研究開発戦略をしっかりと定義するべく、R&D Leadership チームは戦略計画の策定に着手することで合意

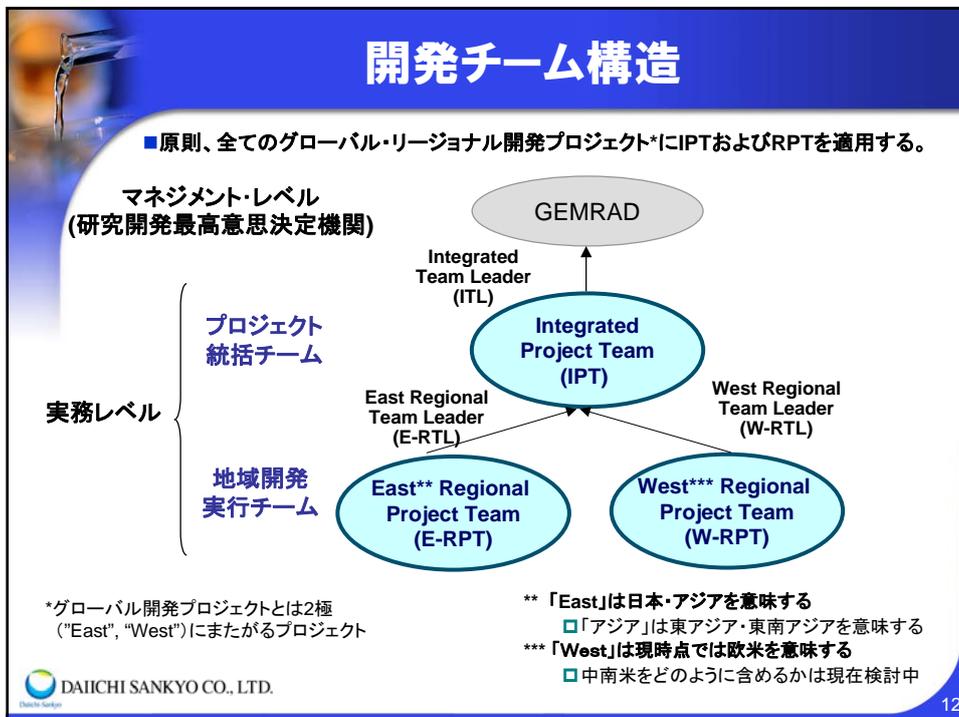
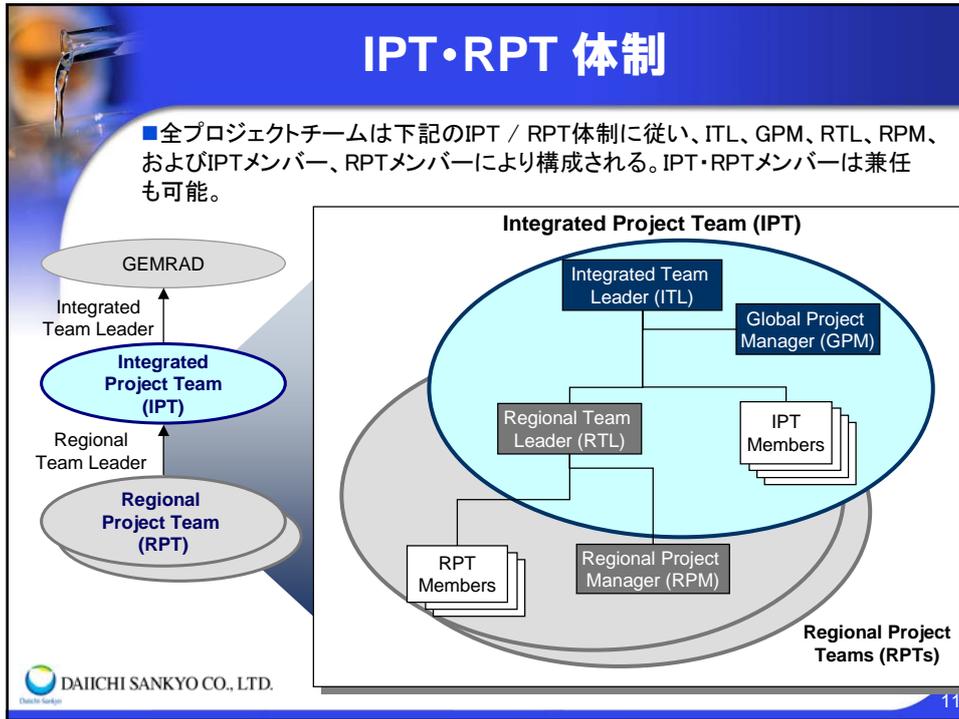
Global Pharma Innovator としての真の競争力獲得

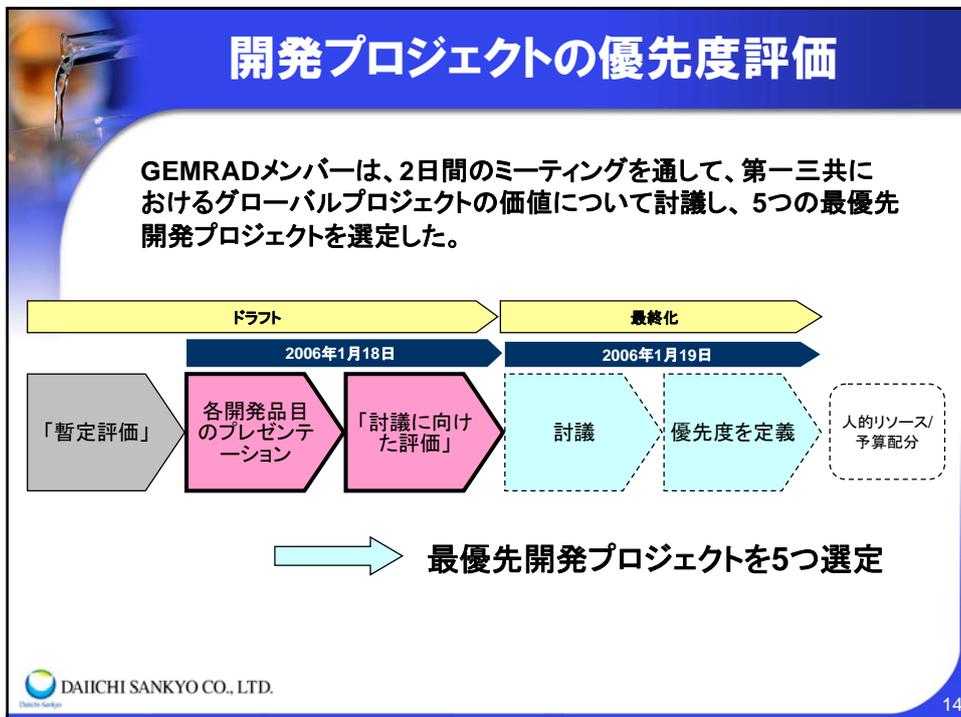
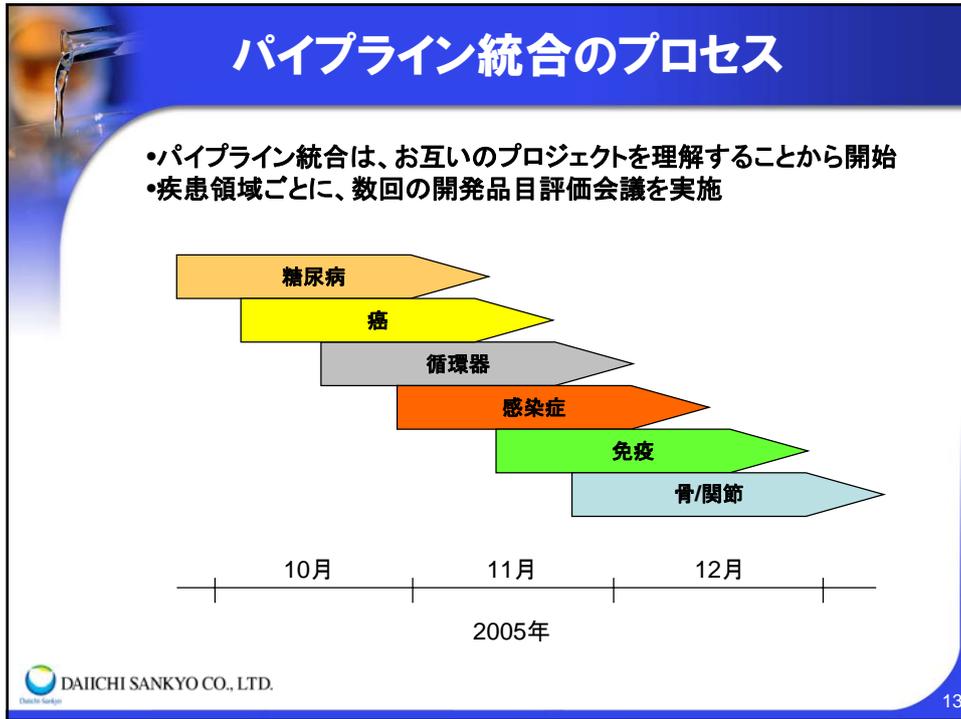
DAIICHI SANKYO CO., LTD.

6









優先度評価の結論

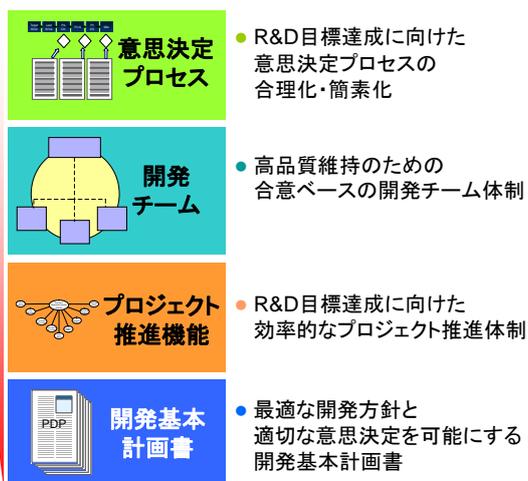
討議の結果、最優先開発プロジェクトを5つ選定

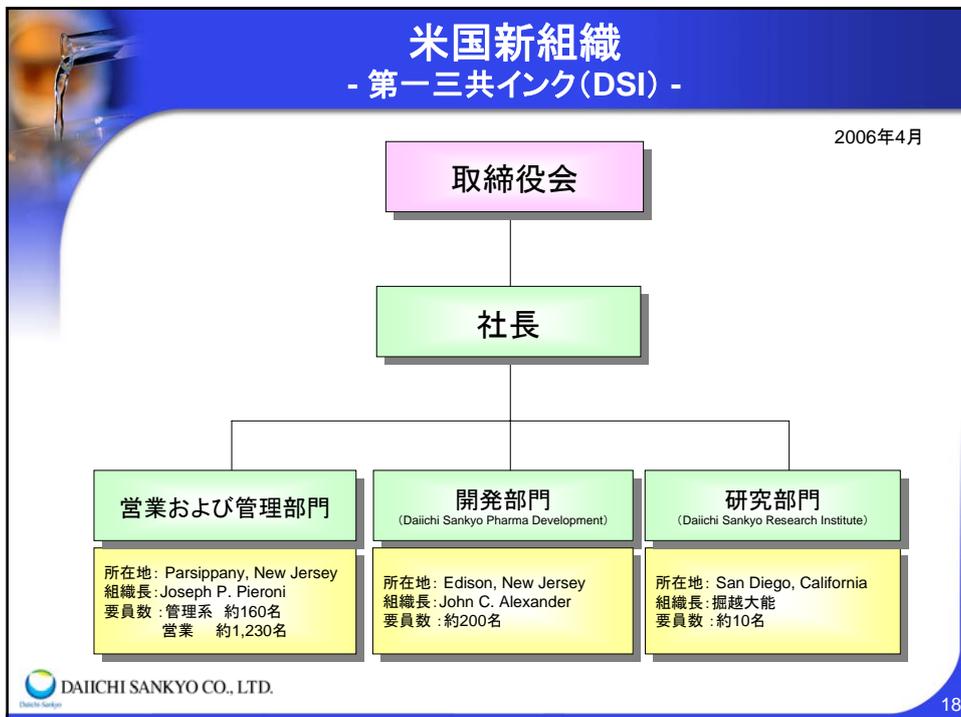
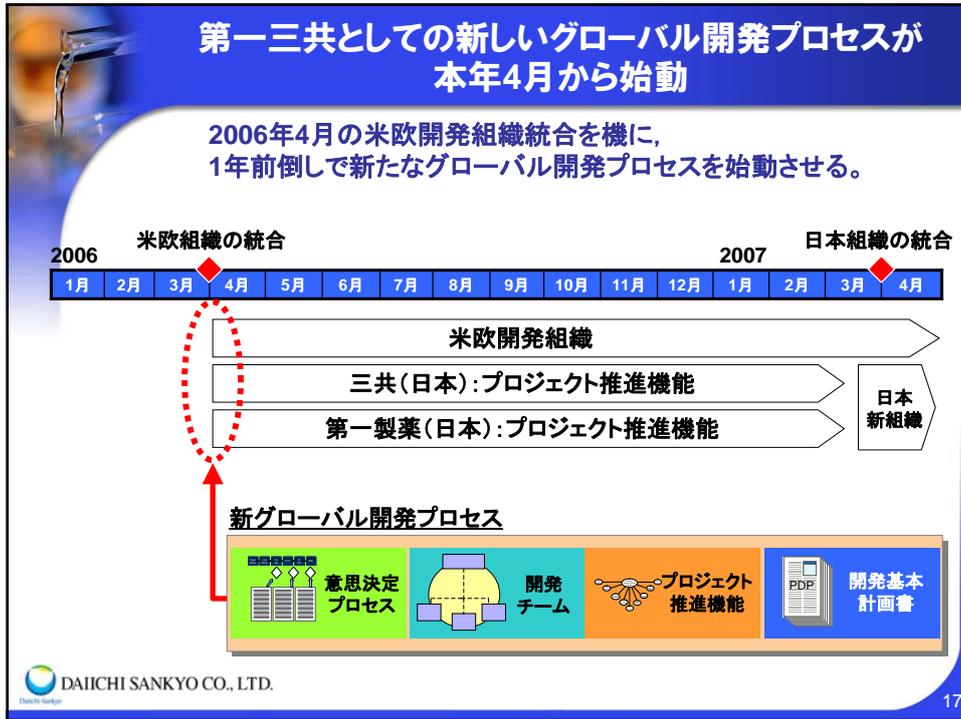
Project Name	Class
Prasugrel (CS-747)	抗血小板剤
DU-176b	抗Xa剤(抗凝固剤)
CS-8663	オルメサルタンとアムロジピンの配合剤
DJ-927 oral	タキサン誘導体(抗癌剤)
DZ-697b	抗血小板剤

グローバル開発プロセス

第一三共の新しいグローバル開発プロセス

第一三共R&Dの目標
「スピードアップ」
「高品質の維持」
「適切な開発候補品選択と的確な製品化」



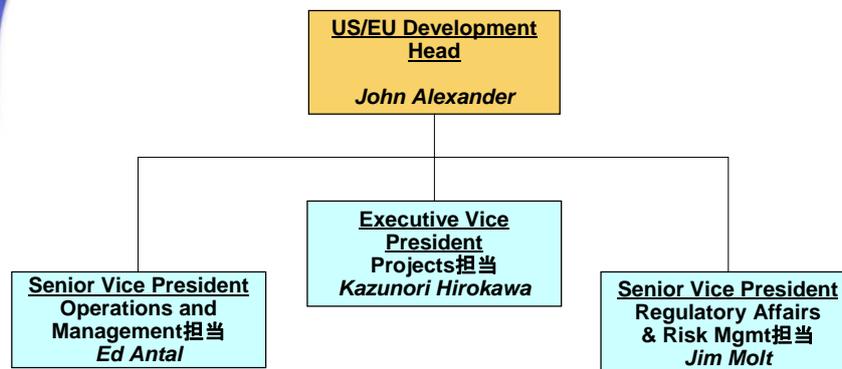


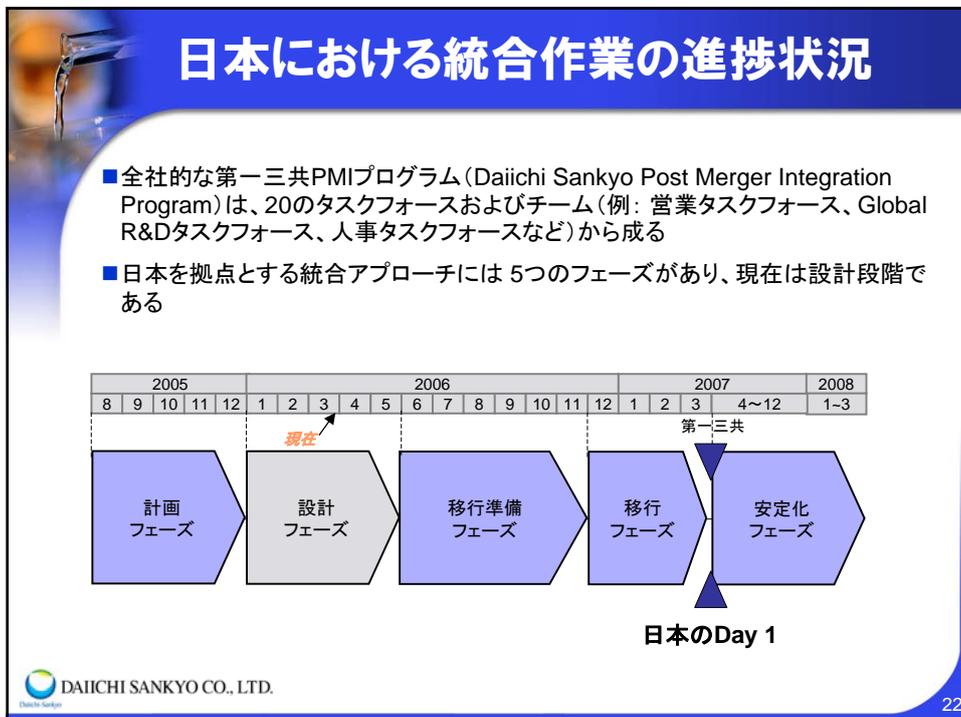
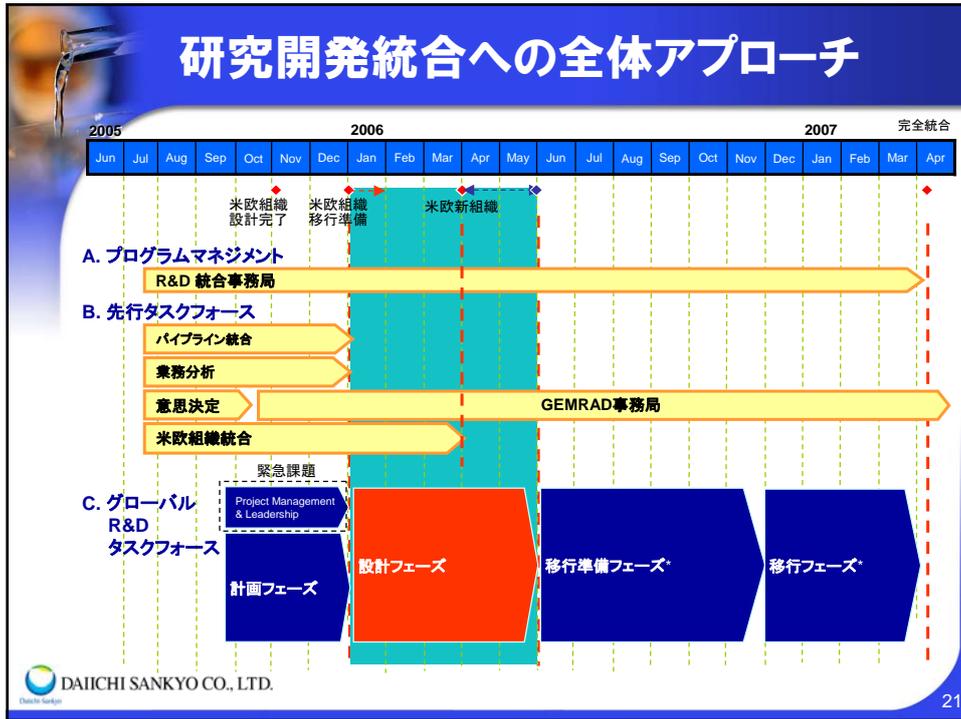
米欧における開発統合

- 統合プロセスにおいて、進行中プロジェクトへの影響を最小限にとどめた
- 組織体制構築、人材登用、人材配置は終了
 - Daiichi Medical Research (DMR) の社員の約65%が在職
 - 三共ファルマデベロップメント (SPhD) の人員の100%が在職
 - 研究開発における市場性評価分析体制を確立
- Integration Planning Boardを設立して統合過程を統治。役割と責任を明確化するとともに、効果的な意思決定と情報共有を行なった。
 - 統合後はDaiichi Sankyo Pharma Development Executive Committeeとして機能する。

米欧の新開発組織(2006年4月)

- 米欧のガバナンスモデルに基づき、下記新組織を立ち上げる





結 論

- 機能 / 地域の枠を越えた、研究開発の最高意思決定会議体として GEMRAD を設立
- GEMRAD は、パイプラインの優先度評価を実施
- 最優先開発プロジェクトに対する、開発プロジェクトチーム (Integrated Global and Regional Project Teams) の全面的な支援と適正な予算配分
- 欧米組織は4月3日に設立、日本の統合は予定通り
- 統合された研究開発予算を策定済
- 第一三共における研究開発戦略をしっかりと定義するべく、R&D Leadership チームは戦略計画の策定に着手することで合意

Global Pharma Innovator としての真の競争力獲得